

令和2年度 学校教育努力点

1 研究主題 **なかまとの対話を通して、学びを深めることができる子どもの育成** ～ 互いの考えを共有し合う授業展開の工夫を重視して ～

2 研究主題設定の理由

本校では、「友達と関わり、豊かな人間関係を築くことができる子どもの育成」を主題とし、「なかまなビジョン」を意識した実践研究に取り組み、本主題を追究し始めて3年目となった昨年度は、「自他を大切にしたコミュニケーション能力」を高める活動を重視して実践に取り組んだ。

常時活動として、SSTに全校で取り組んだことは、友達とよい関係を築くための具体的な方法を知り、生活の中で生かしていこうという意欲を高める上では、有効であったと感じる。また、学習や生活の様々な場面で、普段関わりの少ない友達とも意見交流する機会を積極的に増やしたことにより、子どもが誰とでも気持ちや考えを伝え合うよさを味わい、友達と良好な関係を築いているという認識をもつ子どもも多く見られた。しかし、相手の話を「聞く」ことはできているという実感はあっても、自分の考えや思いを「伝える」ことができているという手応えを子どもは十分に感じていないという課題が残った。

今年度の「名古屋市学校教育の努力目標と重点事項」には、「なかまとの対話を大切にし、主体的に学ぶ子どもの育成」が掲げられ、『なかまなビジョン』に基づく互いに認め合う学級づくりと、なかまと学びを深める授業づくりを推進「個別最適化された学びの提供」「実生活に生きてはたらき、各教科等の基本となることばの力の育成」が定められている。それらを踏まえ、本校では、これまでの努力点の成果を生かし、子どもたちが互いに認め合い、安心して生活できる学級づくりを基盤として、一人一人の思考力や表現力を育む対話型の授業づくりについて追究していく。特に、子どもたちの「伝える力」「聞く力」を育みながら、「互いの考えを共有し合う授業展開の工夫」を重視して、目指す子ども像に迫りたいと考える。

3 研究の視点

目指す子ども像＝「なかまとの対話を通して、学びを深めることができる子ども」

自分と異なる考えを取り入れ、さらに自分の考えを広げる・深める

なかまと対話する活動を通して、授業のよさを実感する

授業実践 「伝える力」「聞く力」を育み、**互いの考えを共有し合う**授業展開の工夫

(実践の場)

- 各教科の学習
- 道徳・学級活動・総合的な学習
(行事に向けた取り組みも含む)

伝える : 相手の考えと比べながら伝える
聞く : 自分の考えと比べながら聞く

伝える : 自分の考えや思いを的確な言葉で表現して伝える

聞く : 相手の考えや思いを否定せずに受け止めて聞く

常時活動 互いに認め合い、安心して生活できる学級の基盤づくり

(活動の場)

- 朝の会・帰りの会
- 業前タイム
- 係活動・当番活動
- 給食の時間や清掃時間
- 休み時間

◎ プロジェクト活動
(日常生活での取り組み)

◎ ソーシャルスキルトレーニング(SST)

伝える : 相手の思いや考えを否定せずに、自分の考えや思いを伝える

聞く : 自分の思いや考えと異なっても、受容的・共感的に相手の話を聞く